

事務事業名	指定文化財修繕支援事業				担当	教育委員会 文化課 文化財係		
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			電話番号	0285-83-7731		
施策名	5	文化財の保護と継承			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠	文化財保護法、栃木県文化財保護条例、真岡市文化財保護条例、真岡市文化財保存事業費補助金交付要綱					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和47 年度～）		
予算科目	1. 一般会計	10. 教育費	4. 社会教育費	2. 文化財保護費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）			
事業概要	指定文化財の所有者(管理者)が保存のための修理や公開を行なう場合、国・県が予算の範囲内で補助金を交付する事業に対し、市は所有者への指導助言や補助金交付の事務手続きを支援する。 また、事業に要する費用から国・県費補助金を差し引いた額の50%以内について、市が予算の範囲内で補助金を交付する（上限500万円）。「文化財解説等設置事業」については、24年度よりこの事業に統合した。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 24年度実績 東日本大震災により破損した指定文化財等2件の修理を支援した。 ・国指定 - 三谷草庵 ・市指定 - 胎蔵界大日如来坐像 ・金鈴荘解説板修復 25年度計画 ・専修寺三谷草庵第2期保存修理 ・専修寺避雷針設置 ・長沼八幡宮随身門修理 ・中村大塚古墳修理 ・十一面観音菩薩修理 ・大内麿寺案内板取替え	⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
	名称	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
ア	国庫補助金額	千円	0	4,250	11,022	12,895	7,375
イ	県費補助金額	千円	1,485	1,417	4,062	4,298	2,458
ウ						1	1
エ							
オ							
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 指定文化財及びその所有者(管理者)	⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
	名称	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
ア	指定文化財の数		230	227	227	227	227
イ	文化財解説板等設置及び修復箇所					1	1
ウ							
エ							
オ							
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 指定文化財を適切に保存管理し公開することで次の世代に引き継ぐ。	⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
	名称	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
ア	補助金により修復された文化財の数		1	1	6	2	5
イ							
ウ							
エ							
オ							
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 郷土の歴史や文化について理解を深め、市民文化の向上に資する。	⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
	名称	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
ア	地域の歴史や文化財に関心を持つ市民の割合	%	74.5	70.1	70.1	69.7	70.0
イ	文化財を大切にしたいと感じている市民の割合	%	95.4	92.3	92.4	92.4	93.0
ウ							
エ							
オ							

(2) 総事業費の推移		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	1,336	1,417	7,243	4,508
		事業費計(A)	千円	1,336	1,417	7,243	4,508
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	2	1
		延べ業務時間	時間	80	100	200	120
		人件費計(B)	千円	324	427	848	504
		トータルコスト(A)+(B)	千円	1,660	1,844	8,091	5,012

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	文化財保護法等の規定により、指定文化財を適切に保存管理するために要する経費の一部を国庫・県費・市費により予算の範囲内で負担する事業について、指定文化財の所有者(管理者)への指導助言や補助金交付の事務手続きを支援する。解説板等については地域の歴史や文化への理解を深めるとともに来訪者の利便を高めるため設置している。
②事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	平成21年に二宮町と合併したことから指定文化財が増加したことから事務量も増えている。
③この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	補助金の増額や事務手続きの簡略化を求める要望がある。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 文化財の保護継承は市の施策である。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 指定文化財を保存管理し公開することは、郷土の歴史や文化を理解するため有効である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 指定文化財所有者(管理者)の保存管理に対する負担軽減を図り、市民に公開するもので適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 指定文化財を保存管理し公開する事業に対し、所有者(管理者)への指導助言や事務手続きを支援するものである。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 指定文化財の適切な保存管理や事務手続きを所有者(管理者)のみで行うことは困難である。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？ ・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない 他に類似の事業はない。 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 国庫及び県費補助金に上乗せして、500万円を上限に市費補助金を交付するもので削減の余地はない。解説板等の設置については必要最小限の費用である。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 指導助言や事務支援、解説板等の設置について必要最小限の業務である。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 指定文化財の保存管理のみでなく、広く市民に公開し有効活用するものである。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項 文化財解説板等設置事業はこの事業に統合する。																							